

メーカーの垣根を超えた共同配送を支える 配送見える化ソリューション・頑丈ハンドヘルド タフブック



トヨタモビリティパーツ 株式会社 様

導入時期：2022年4月

導入地域：栃木

(全国拡大に向けて活動中)

課題

他メーカーと自動車部品の共同配送を検討していたが、各社でシステム、ラベル、現場運用が異なっていた。高品質な共同配送を実現するためには、この課題を克服する必要があった。

解決策

各社で異なるシステムやラベルを統一することで、より効率的な業務環境を実現。煩雑な追加作業をすることなく、自社部品と同レベルの高品質な配送を可能にした。

“配送品質を保ったまま、現場作業の効率化が日に日に進んでいます。改善を重ねていけば、より使い勝手のいいシステムになると確信しています。”



物流事業部
共同物流推進室
遠藤 元気 様

※所属は納入時のものです。

背景

ドライバー不足や環境保全対応などの物流課題を乗り越え、自動車修理部品を安定供給するため、他社共同配送を決定

現在、自動車部品の供給に欠かせない物流の世界では、ドライバー不足やCO₂削減をはじめとする環境保全の対応などが喫緊の課題となっています。お客様によりよいアフターサービスを提供し続けるためには、業界全体での物流ネットワークの効率化が必要と判断し、自動車メーカーの垣根を越えた補修用部品・用品の共同配送を決定されました。

「共同配送における一番の課題は、各社で使用しているシステムが違うため、ラベルや現場運用が異なることでした」と遠藤様。効率的に配送業務が行える環境の整備と、他社の荷物もしっかりお届けできるように品質を担保するためには、配送管理システムの統一化が必要でした。

導入理由

パナソニックスタッフの現場理解の深さと、トヨタ標準出荷ラベルへの対応を評価

トヨタモビリティパーツ様(以下 TMP様)が配送管理システムの選定時に重視されたのは、“配送状況のリアルタイム把握”、“実績のエビデンス管理”、“トラブル発生時の迅速対応”、“他社部品のトヨタ標準出荷ラベルへの対応”の4点。特に重視されたのは、“他社部品のトヨタ標準出荷ラベルへの対応”。他社の荷物をトラブルなく運ぶには、ラベルの統一が必須でした。

また、端末の動作速度、駆動時間も重要でした。「システムや端末が要件を満たしているのはもちろん、パナソニックさんは現場を深く理解してくれていました」と遠藤様。「検討段階にもかかわらず、倉庫まで現地現物を確認しにきてくれたんです。ぜひパートナーとして組みたいと思いました」。

お客様紹介

2020年4月1日に、全国33社のトヨタ部品共販と株式会社タクティーが統合し、トヨタモビリティパーツ株式会社として発足。トヨタグループの一員として、お客様に安全・安心かつ快適にクルマを使っていただけるよう、修理部品や用品を企画・販売し、お届けすることでクルマ社会・地域社会を支えておられます。

■所在地 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー

■URL <https://toyota-mp.co.jp/>

配送見える化ソリューション・頑丈ハンドヘルド タフブック



▲他社荷物到着時にデータ読み取り



▲配送コース別に仕分け



▲担当ドライバー様の声

“テンキーを搭載した端末からスマホ型の端末になると聞いて、軍手で操作できるのか、扱いやすいのか、などの不安がありました。使ってみると、とても操作しやすかったので、現場のことをよく考えて作られた端末なのだなと感じました。”



▲配送管理担当様の声

“リアルタイムで、トラックの位置情報と荷降ろしした商品も画面で確認できるので助かっています。”

導入後の効果

他社部品も自社システムで管理することで、配送品質を担保。配送見える化ソリューションと、故障しにくい頑丈端末で現場をサポート

配送見える化ソリューションを導入したTMP様の支社では、他社ラベル情報をトヨタ標準出荷ラベルに変換し、自社システムでの管理が可能になりました。他社の伝票を現場スタッフが目視確認するといった必要もなく、これまでと同様にQRコードの読み取りによって、滞りなく業務が行えているといえます。

一番の懸念事項だった配送品質も問題なくキープできているとのこと。これから長く運用していく中で出てきた課題は、パナソニックのスタッフと協力して解消し、さらによりよいシステムにしていきたいと遠藤様は語ります。

システム導入に不安の声もありましたが、導入後は逆に評価する声が届くようになったといいます。「配送状況をリアルタイムに把握できる機能によって、お問い合わせに対するレスポンスが早くなったと好評です。端末も使いやすいとドライバーからの評判もいいですね。QRコードの読み取りスピードは早いですし、以前の端末のようにバッテリーが持たないという意見も聞かなくなりました。また、他拠点では2年以上の運用実績があり、そちらでは1台も故障していないので安心して運用できています」。

今後の展望

物流効率化、SDGsの実現に向けて環境負荷低減を加速。倉庫機能シェアリングにもチャレンジ

今後は共同配送エリアを全国に拡大し、倉庫機能(作業・保管)のシェアもいたいと遠藤様。「より少ないリソースで効率的な物流システムを構築することで、さらなる効率化、SDGsを視野に入れた環境負荷低減にも寄与できると考えています」。

パナソニックとの協体制度も、積極的に広げていきたいと遠藤様は話します。「他分野でも協業して、お客様によりよいアフターサービスを提供していきたいですね」。



関連機器・サービス



配送見える化ソリューション

<荷主/運行管理者>

- 位置情報の確認
- 配送進捗の把握

<ドライバー>

- 誤配防止アシスト
- 配送完了報告
- 撮像



4.7型頑丈ハンドヘルド タフブック FZ-N1

- LTE通信/音声通話対応
- バーコードリーダー搭載
- 210cm 落下試験実施の耐落下性能
- IP66/68準拠の防塵・防滴/防水性能

